

食品試験室の質管理と質保証：微生物試験編

概要：2018年6月13日「食品衛生法等の一部を改正する法律」が公布され、2年以内に食品等事業者に対し HACCP が制度化されることになりました。HACCP は食品衛生上の重要なハザードを管理する重要管理点を決定し、その工程のパラメータをモニタリングして出荷の可否を判定します。そのため、試験検査は不要だと思われることがありますが、試験検査は、HACCP プランの構築や検証活動を担うため、むしろ重要性が増しています。

その試験検査にも質管理 (Laboratory Quality Control : LQC) や質保証 (Laboratory Quality Assurance : LQA) が求められますが、わが国では体系的に試験検査の LAC・LQA を学ぶ機会が少ないのが実情です。

そこで本セミナーは微生物試験室の LQC、LQA について具体的に何が求められるのか、国際的な視野 (コーデックス規格、AOAC インターナショナル、ISO など) から、分かりやすく解説します。奮ってご参加ください。

協賛：一般社団法人 食品衛生登録検査機関協会

受講をお勧めする対象：

- ・食品企業の品質管理の担当者、責任者；
- ・食品企業の品質保証の担当者、責任者；
- ・受託試験機関の担当者、責任者；
- ・研究機関の研究者など。

日時・場所：

- ・2018年11月14日(水) 10:00-17:00 (受付 09:30より)
- ・大橋会館：東京都目黒区東山 3-7-11 (東急田園都市線、池尻大橋より徒歩3分)

内容：(敬称略) 講師は変更になる場合があります。

- ① 開講 オリエンテーションとセミナーの狙い (荒木恵美子) 10:00~10:30
・試験検査にも適用できる「品質管理の基本 4M」
- ② 微生物試験方法の妥当性確認 (五十君静信) 10:30~12:00
・わが国の微生物検査法の策定状況と迅速簡便法導入の考え方
- ③ 機器の保守管理と培地・試薬の管理 (森 曜子) 13:00~14:10
・ISO/IEC 17025:2017 (JIS Q 17025:2017) の見方
- ④ 内部質管理の進め方 (荒木恵美子) 14:20~15:30
・内部質管理 (精度管理) 用試料の調製 (ISO Guide 80) と結果の評価法
- ⑤ 技能試験 (PT) プログラムへの参加と使い方 (後藤哲久) 15:30~16:40
・FEPAS の紹介と PT 参加の意義
- ⑥ 質疑応答、まとめ 閉講

募集人数：40名

受講料：AOACI ジャパンセクション会員 20,000円

AOAC 日本賛助会員 (2名迄) お一人 20,000円

食品衛生登録検査機関会員 20,000円

非会員 30,000円

受付期間：9月3日(月)~10月31日(水) (ただし、定員になり次第、締め切らせていただきます。)

お問合せ・申込み：AOAC 日本ホームページ (<https://aoacjjs.org>) からお願いします。